



發行日二回 毎月十日廿五日 編輯者 小林康二 發行人 中野四十一番地 發行所 四倉新報社 福島縣石城郡平町田町三十一番地 印刷所 活版所 本紙定價一部十錢 月式拾錢(年二圓)

五十二議會

閉會後の各政黨

第五十二議會も閉會となり、普通選挙の延期から、一時普通選挙の實施も一ヶ年の後に滯滞を來たして居た、政意迫まつて居るので、各種の本各派の新人間の新黨組織新運動が露骨に轉回するの運動も、速かに再開した模様ではなからうか。

新運動には、常に伴う困難に憲政會内の新黨論者の一部はそれに呼應し、脈絡を殊に憲政會内の新黨論者は取つて居るものもあるらに、何れも、其目的や動機を異にして居る。

唯だ眼前の政權のみを目當に、無産黨の各派は、おのづかに、新黨論者もあり、高きその旗幟を掲げて、い本憲聯盟した以上は一步進められ、全國遊説の首途に上めて合同し、其總裁は當然つた。

憲政會から出ず事にならう國民の多數が、果してこれと、其れを見越して主張し、心から彼等を迎へて居るもあり、又安達遞相に居るかわ疑問として、その對する反感から憲本合同、の堂々たる主張は、至る處新黨組織まで進み、其間で、非常な喝采を博して居るに何等かの機會を握かまらぬの種でなければならぬ。

盛會なりし

四倉消防協會

幹部大會

四倉町海邊に於て、春季時、場所等を議し別項の早慶祭當日四倉消防協會幹事如水谷協會長の訓示があり、大會を開催せられ、各組つた。より提出せられたる、議案是れより懇親會にうつり、及び春季消防聯合檢閲の日緒連の余興あり。

四倉消防協會

水谷智造

又關係町村より有志來賓多數参加され實に盛であつた

茲ニ小職赴任後第二回ノ消防幹部大會ニ於テ聊カ所懐ヲ述ブルヲ得ルハ光榮トスル所ナリ

本協會ハ客年七月一日双葉郡久之濱町大久村カ移管セラレタル結果久之濱大久消防組ノ合同ヲ見ルニ至リ從來一町四ヶ村ノ協會幹部七十八名ナリシモノ一躍百八名ニ増加シタルハ本協會ノ爲メ慶賀ニ堪ヘヌ將來幹部員各位互ニ相親睦提携シ本協會ノ隆盛ヲ期セラレントラ切望ス

客年三月ノ大會ニ於テ決議セラレタル警察署長管舎建築ハ全年中ニ於テ實行ヲ了シ本年三月二日付ヲ以テ官舎敷地寄附採納ノ通知ニ接シタルヲ以テ寄附ニ關スル全部ノ手續終了シタリ熱誠ナル各位ノ努力ニ對シ茲ニ深厚ナル敬意ヲ表スル所以ナリ消防團體ハ公共ノ危險ヲ排除シ人命財産ヲ保護スルコトヲ以テ本務トスルカ故ニ團體トシテ活動セシカ嚴肅ナル規律ト旺盛ナル元氣ニ倣フベキナルヲ俟タズ故ニ平素ニ於テ能ク部下ノ規律訓練ヲ怠ラズ組員互ニ自己ノ職分ヲ守リ上下相和シ旺盛セ

ル元氣ヲ以テ戮力一致保護ノ大任ヲ全フセラレシコトヲ望ム

近年工業ノ進歩發達著シク我が消防界ニ於テ唯一ノ武器トシテ使用スル唧筒ノ如キハ各地爭フテ精良ナルモノヲ購入シシ勞力省キ能率ヲ増進シ以テ防火ノ目的ヲ達セシムルニ努力ス、アリ各位ハ世ノ進展ニ後レザランコトヲ期シ相當對策ヲ考究セラル、コト、信ズルモ如何ニ精銳ナル機械ヲ備フルモ之レガ運用ニ其人ヲ得サレバ徒ニ所多クシテ効果ヲ舉グル能ハザルヲ以テ今ヨリ部下ヲ督勵シ技術ニ關ル豫備知識ヲ養成セルニ努メ且ツ將來任命セルル可キ消防組員ハ學術操行優良ナル青年ヲ選拔シ技術ニ熟練セシムルト共ニ組員ノ素質改善ニ努ムルヲ以テ緊切ナル事項ナリト信ズ

社會ノ文化ニ伴ヒ都鄙ノ別ナク電燈線高壓線架設セラレ如何ナル陋屋モ點燈ヲ見ザルナク工業ノ進歩ニ伴フ高壓電力ノ需用益々増加シ吾人ノ生活ニ多大ノ貢獻ヲ爲シタル、アルハ悦ブ可キ現象ナルモ之レニ隨伴シテ種々ノ危險發生シ人命ヲ傷ヒ財産ヲ爲有ニ歸セシメタル事例モ亦鮮シトゾ各位ハ猛火暴風雨ト闘フ間ニ於テ此等危險ニ遭遇スルコトナキヲ保シ難キヲ以テ此等危險ヲ防止シ警戒スルハ勿論苟モ危險發生ノ場合ニ於テ應急ノ措置ヲ講ジ人命財産ノ全安ヲ計リ危険排除ニ一段ノ努力ヲ致サレシコトヲ望ム

茲ニ卑見ヲ述ベテ訓示トス

組名	金馬簾	感狀
四倉	一四	二
大浦	三〇	二
草野	二七	二
神谷	三二	二
大野	二六	二
久之濱	二九	二
大久	一〇	二

平出張所開設

四倉銀行の

株式会社四倉銀行には、戸出張所に拔適され、平出張所を開設し、貸出預金及びのり人であつて親切丁寧に銀行事務を取扱ふことになつた。

敏腕家○○○氏は同行本を兼ねて居る。

郡賞を贈らる、各校優等生

各小學校の卒業式は舉行され、校百五十五名である、第一四區小學校の分は左の如し

同 草野校 江島 秀子 四倉校 鈴木 良平

同 同 片寄 榮達 同 門馬 松子

同 同 柳井 文子 同 阿部 康藏

市川段藏大一座來る

總員四十七名

四倉座へ東京歌舞伎

來る廿八九兩日四倉座に於て佐藤儀助さんか營業する東京歌舞伎市川段藏大一座は名料理人も東京から雇入れて座開演する由で同一座は名料理人も東京から雇入れて、松宮殿下御覽を賜つた。麥の方も中食に必ず御用命に應ずるから至極便利であらう。

同座の高評的となつて居るは忠臣藏廿二場卅六段居又開業の御知せのピラを一所返して光線應用の大道千枝を全町に配布するが之具で幕引かすに演ずるのでこのピラには無料試食券を一各地で大人氣である此の枚づゝ添布し御試食を願う幕引かす劇は我藝術界に於んだ。

ける誇りであつて四倉町の開演を一般から非常に期待されて居る。

燈紅

武田屋

今 助

今ちやんは、あのひと妙見様へ祈願までして出來た中だけに腦みが多いこの事、あの人が病氣でもないのに顔を見せるのが段々少くなるので、すつかりしを居るが、さうやら癩の種に居るらしい。

ごなたか、今助本尊の信心者が出で御百度でも踏んであの癩の種全癒の祈願でも松の月では四月一日から元

腦み 腦むて

なやむで、なやむ

腦む此の身の

おろかさよ。

と歌つて居た。

御挨拶

松の月ここ

皆々様より多年

御引立と御指導

を給り益々發展

の途にある事を

御禮申上ます

今回現營業主の

家事上都合に依

り來る四月一日

より私が營業を

繼續する事にな

りました

從業の上は御客

様本意に内部の

改善をなし何分

の御満足を得ら

れむ事に努力致

します何卒舊に

倍し御聲援と御

指導を給らむ事

を懇願致します

御蕎麥 松の月

佐藤儀助

電話 三六番

各位

御挨拶

松の月

佐藤儀助